

田原本町まち・ひと・しごと総合戦略の進捗状況

基本目標 1 田原本町に住み続けることができる働く場を創る											
数値目標								主担当 部局	担当課		
項目	H26	H27	H28	直近値 (H29)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値 (H31)				
町内事業所従業員数	11,916人	—	11,167人	11,167人 (H28)	従業員数は減少傾向である。数値は経済センサスH28年調査結果による。	町内産業安定化を図るため従業員数の急激な減少とならないよう努める。	11,748人	産業建設部	観光・まちづくり推進課		
誘致企業数 (累計)	7件	8件	8件	11件	奨励金届出ベースで新たに3件が立地。23年編入地区には一団の未利用地があり、本地区への誘致を進めることが課題。	企業や金融機関などに対し、説明会などを実施するなど、PR機会を増やしていく。	15件	産業建設部	観光・まちづくり推進課		
商工会加盟事業者数	578人	568人	549人	550人	町内事業者の廃業数が増え、開業等新規加盟事業者数を上回っている中で、商工会加盟数は前年度と変わらない数字を保っている。	中小企業の振興を図ることで、商工加盟事業者の減少が緩やかなものになるよう努める。	528人	産業建設部	観光・まちづくり推進課		
K P I											
施策	指標名	H26	H27	H28	直近値 (H29)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値	主担当 部局	担当課	
(1) 事業者にとって魅力的なまちにする	①雇用創出の視点からの企業誘致、中小企業支援	駅前空き店舗解消数 (累計)	1件	—	1件	1件	田原本駅前活性化対策補助金の募集をしたが、申請が無かった。	田原本駅前の空き店舗を解消し、活性化を図るため、制度を見直し、効果的に活用できるよう検討する。	3件	産業建設部	観光・まちづくり推進課
	②都市の生活利便性向上の視点からの商業活性化	中小企業資金融資件数	41件	44件	45件	43件	町内中小企業者の金融の円滑化を図るため、中小利子補給及び保証料補給を行なう融資制度を実施し、中小企業振興に努めた結果、43件の申請があった。	町内中小企業者の金融の円滑化を図り、中小企業振興を推進するため、引き続き制度を実施していく。	50件	産業建設部	観光・まちづくり推進課
	③都市魅力向上の視点からの駅前の活性化										

施策	K P I								主担当 部局	担当課	
	指標名	H26	H27	H28	直近値 (H29)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値			
(2) 資源を最大限に活かした産業を育む	①農業の担い手の育成	新規就農者数(累計)	4人	6人	7人	7人	少しずつではあるが増えており、現在相談中の方もおられる。	地域における担い手育成のためにも継続的に取組んでいく。	10人	産業建設部	農政土木課
		集落営農組織数	1組織	1組織	1組織	1組織	農業の効率化のためにも集落営農組織は有効である。そのためにも今後も相談等があった場合に進めていく。	地域における担い手確保のためにも継続的に取組んでいく。	2組織	産業建設部	農政土木課
	②農産物の高付加価値化	農業制度資金活用件数	3件	5件	5件	6件	新たに1件の利用があり、新たな設備への投資が行われた。	農業経営を行っていくうえで新たな設備投資等を行いやすいように今後も農業制度資金の活用を行いやすいように進めていく。	5件	産業建設部	農政土木課
		推進する作物の耕作面積	0.5ha	0.5ha	0.7ha	0.7ha	味間いもは、連作障害が起こることから生産地の確保が難しく、生産量の確保が課題である。	味間いもの生産を推進していく。	1.5ha	産業建設部	農政土木課
(3) まちのブランド化につながる産業を育む	①大和野菜等、ブランド力の高い野菜の生産の促進	県で認定された大和野菜の生産品目数	1件	1件	1件	1件	現在認定を受けている味間いものアピール活動に力を入れており、県内のイベント等に参加し販売を行っている。	今後は、県外で行われるイベント等にも参加し、県内外にアピールをしていく。	2件	産業建設部	農政土木課
	②農畜産物・特産品の周知	「楼閣くん」の商標利用件数(累計)	—	—	11件	54件	H29年度申請43件のうち、16件が町役場各課から、27件が民間からの申請であった。H29年度末には町公式キャラクター「タワラモトン」が誕生した。	町公式キャラクターと「楼閣くん」との棲み分けを行いながら、遺跡ロゴマークとともに周知を行い利用を促す。	30件	教育委員会	文化財保存課

田原本町まち・ひと・しごと総合戦略の進捗状況

基本目標2 田原本町への新しいひとの流れをつくる											
数値目標											
項目	H26	H27	H28	直近値 (H29)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値 (H31)	主担当 部局	担当課		
社会増減数 (転入者数－転出者数)	△183人	△53人	△97人	△58人	主に転入増により社会増減数が改善した。(転入1,001人・転出1,059人)	道の駅、唐古・鍵遺跡史跡公園、ミュージアム等を活用した町の魅力発信、企業誘致による雇用の場の確保、近居支援等により、引き続き転出抑制に努める。	△99人	町長公室	総合政策課		
観光入込客数	19,116人	18,133人	18,140人	9,056人	H29～ミュージアムリニューアル工事により入館者数が減少。十六市のイベント当日天候不良の中開催のため参加者減少。	H30道の駅、史跡公園オープン等により、町内観光施設等への来訪者の増を見込む。	422,000人	産業建設部	観光・まちづくり推進課		
施策	K P I								主担当 部局	担当課	
	指標名	H26	H27	H28	直近値 (H29)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値			
(1) 若い世代が定住しやすい住環境を整備する	①三世同居・近居の促進 ②空き家となった住宅の利活用の促進 ③大阪都心のベッドタウンという強みを生かした定住促進	三世同居・近居促進(住宅改修等補助)事業の利用件数	—	—	—	4件	募集件数5件に対し、4件の利用があった。制度運用初年度ということで、制度そのものの十分に周知できなかったことが課題。	制度の周知に努めると共に、より定住に繋がる制度へ改善していくため、制度上の課題抽出を図る。	10件	産業建設部	観光・まちづくり推進課
(2) 豊かな歴史資源を活用する	①唐古・鍵遺跡史跡公園、ミュージアムの充実	唐古・鍵遺跡史跡公園の来場者数	—	—	—	—	H30年4月に開園。公園指定管理者とともに、隣接する道の駅関係者等と活用会議を開催した。	公園活用スケジュールを指定管理者とともに実施・管理する。AR手法による建物復元等のアプリを開発し、来園者の増加と遺跡への理解の向上を図る。	40,000人	教育委員会	文化財保存課
	②田原本町の歴史・文化的な観光資源の魅力を知らせてもらうイベントの実施	唐古・鍵考古学ミュージアム入館者数	9,116人	8,133人	8,140人	4,056人	ミュージアムのリニューアルのため5か月間のみの開館であり、半年並みからやや多い程度の入館者数であった。	H30年6月に展示手法を見直しリニューアルオープンした。HPやSNSをとおして情報発信に努めるとともに、史跡公園とも連携した取組を行う。	12,000人	教育委員会	文化財保存課
	③観光客の交通利便性の向上	他自治体や民間などと連携した観光等の歴史イベントの実施回数	2件	4件	4件	5件	他自治体や民間との連携に努め、前年度に続き東京まほろば館での展示等事業を実施し、PRをおこなった。	引き続き他自治体等と連携し、道の駅オープンの際には、県内中南和地域への広域的観光の玄関口として観光情報と魅力発信をしていく。	5件	産業建設部	観光・まちづくり推進課
(3) 田原本町の魅力を発信する	①唐古・鍵遺跡史跡公園と連携する道の駅の整備	道の駅の来場者数	—	—	—	—	道の駅オープンに伴い今後活用していく田原本町全股を網羅した観光パンフレットを作成した。	引き続き、道の駅、史跡公園の活用と誘客に向けた取り組みを指定管理者と共により具体化していく。	400,000人	産業建設部	観光・まちづくり推進課
	②道の駅を活用した田原本町の魅力の発信 ③町や地域の取り組みの発信	奈良県広報誌・新聞・フリーペーパーを活用した発信件数	14件	18件	60件	103件	報道機関への投げ込み件数を増やさせ、外部媒体の利用を促進させた。今後は投げ込みを単なる情報提供に留めず、他者の目を引くデザイン、内容の見直しを図る。	現状の、外部媒体の利用の促進をより進めていく。アナログ媒体による発信だけでなく、SNSやHP、テレビ企画など、デジタル媒体による発信も推し進める。	70件	町長公室	秘書広報課

田原本町まち・ひと・しごと総合戦略の進捗状況

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる										
数値目標										
項目	H26	H27	H28	直近値 (H29)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値 (H31)	主担当 部局	担当課	
合計特殊出生率	1.47	1.27	—	1.27 (H27)	市町村は人口規模も違うため、毎年の数値は参考にならないとされ、5年ごとの発表と変更となったため、直近値は平成27年度のものである。	田原本町に定住し、安心して子どもを生み育てられるよう子育て支援施策の展開を模索する。	1.59	住民福祉部	こども未来課	
K P I										
施策	指標名	H26	H27	H28	直近値 (H29)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値	主担当 部局	担当課
(1) 就労・結婚・出産を希望する若者を応援する	①町居住・町出身の若者の就職支援	雇用促進奨励金の交付対象となった従業員数(累計)	1人	1人	1人	1人	29年度の交付はなし。	10人	産業建設部	観光・まちづくり推進課
	②若者世代の活発な交流の促進	新規就農者数(累計)(再掲)	4人	6人	7人	7人	少しずつではあるが増えており、現在相談の方もおられる。	10人	産業建設部	農政土木課
	③不妊に悩む夫婦への支援	一般不妊治療助成の実施件数	—	—	—	18件	事業初年度であり、周知期間が短かったことによる。いろいろな施策の広報周知に努め、安心して治療を受けられる制度の運用と、制度を利用しながら積極的に利用出来る機運作りが課題である。	35件	住民福祉部	こども未来課
(2) 子育て環境の充実をはかる	①子育ての経済的な負担の軽減	多子世帯の保育所利用者数	86人	—	79人	76人	目標程度の数値であり、一定の多子世帯減が成果を挙げている。	74人	住民福祉部	こども未来課
	②保育サービスの充実	地域子育て支援センター利用者数	—	—	—	—	—	—	—	—
	③きめ細やかな子育てサポートの実施	—	9,376人	8,484人	6,710人	6,215人	H29年度は基本事業が1施設での実施となり提供量の低下が懸念されたが、年度途中より出張ひろばを追加実施し、前年程度の利用ニーズに対応できた。	10,171人	住民福祉部	こども未来課

施策	K P I								主担当 部局	担当課	
	指標名	H26	H27	H28	直近値 (H29)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値			
(3) 田原本町らしい教育環境を創る	①子どもたちの豊かな人間性の育成	町立幼稚園就園率	48.40%	49.03%	48.64%	48.71%	H29年度から全園で「預かり保育モデル事業」を実施した。	H30年度から全園で「預かり保育事業」の本格実施を行う。	53.00%	教育委員会	教育総務課
	②地域・歴史の学びを通じた、子どもたちの地域への愛着の醸成	おはなし会への参加者数	922人	887人	710人	795人	昨年度に比べると12%増加した。単年度の増加にとどまらず、よりいっそう参加者を増やしていく必要がある。	一人でも多く参加者が増えるよう、HPやSNSなどを駆使したり、幼稚園や保育園等へ広報活動を行ったりしてPRしていく。	1,000人	教育委員会	図書館
	③経済的理由により就学が困難な児童・生徒・保護者の支援	地域・歴史の学び学習実施学年	1学年	1学年	1学年	1学年	6年生を対象に総合的な学習の時間に弥生体験学習を取り入れた。	副読本「弥生時代をまると体験しよう」の活用や唐古・鍵遺跡史跡公園での弥生時代の体験を深める。	3学年	教育委員会	教育総務課

田原本町まち・ひと・しごと総合戦略の進捗状況

基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する											
数値目標									主担当 部局	担当課	
項目	H26	H27	H28	直近値 (H29)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値 (H31)				
自治会加入率	93%	93%	92%	92%	自治連合会の研修や、各種補助金の交付等、自治会活動の魅力向上に努めたが、加入率は横ばいとなった。	引き続き、自治会組織・運営を強化し、活動を活性化させ、加入率が増となるように転入者への加入を促す。	95%	総務部	総務課		
65歳以上の要支援・要介護認定を受けていない人の割合	84%	84%	84%	84%	介護予防事業を行ってきたため、認定率が低い。	地域でのいきいき100歳体操に努めるなど介護予防の推進。	88%	住民福祉部	長寿介護課		
施策	K P I								主担当 部局	担当課	
	指標名	H26	H27	H28	直近値 (H29)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値			
(1) 地域コミュニティの強化をはかる	①地域課題の解決を図る自治会の育成・支援	田原本青垣生涯学習センター・弥生の里ホールの利用件数	4,374件	4,705件	4,644件	4,669件	住民や各種団体の学習活動の場として、また学習成果の発表の場として活用した結果、利用件数が増加した。	利用者の活動を促進するために、学びの場として提供するとともに、そこで得た知識や技術等の成果を発表する場を提供する。	4,500件	教育委員会	生涯教育課
	②文化やスポーツ等を通じた地域活動の支援	町内の体育施設の利用件数	4,583件	4,472件	4,879件	4,757件	住民の健康増進や体力向上を目指すために、スポーツ拠点として活用している。前年度と比べ2.5%の減となっている。	各施設の老朽化が進んでいるため、計画的に改善し、利用者が安全に施設を利用できるよう、また利用件数の増加にもつなげたい。	5,000件	教育委員会	生涯教育課

施策	K P I								主担当 部局	担当課	
	指標名	H26	H27	H28	直近値 (H29)	評価 (成果、課題)	今後の取組方針	目標値			
(2) 誰もが安心して暮らせるまちをつくる	①日常的な健康づくりや急病への対応など住民の健康支援	介護予防サポーター・認知症サポーターの養成人数	32人	768人	307人 416人	609人	介護予防リーダーのフォローアップ講座を行い、地域の活動が広がった。	今後も介護予防事業、認知症サポーター養成講座を継続して行っていく。	800人	住民福祉部	長寿介護課
	②高齢者が生き生きとした生活を送るための支援	シルバー人材センター登録者数	307人	280人	277人	272人	会員数が減少し続けている。	センター事業の積極的なPR活動と会員数の拡大に努め活力ある地域社会づくりに向けた事業の展開をしていく。	390人	住民福祉部	長寿介護課
	③防犯・防災体制の強化によるまちの安全の確保	自主防災組織登録数	60団体	69団体	73団体	74団体	広報紙等やホームページ、出前講座を通じた啓発活動により昨年と比べ増となった。	防災には地域住民の連携が不可欠であることを引き続き出前講座や広報紙を通じ伝え、新規結成に向け働きかけていく。	87団体	総務部	防災課
		LED防犯灯への交換率	33%	56%	78%	100%	目標通り自治会所有防犯灯の蛍光灯からLEDへの交換が終了した。	目標通り自治会所有防犯灯の蛍光灯からLEDへの交換が終了した。	100%	総務部	総務課
		乗合タクシー「ももたろう号」利用者数	4,700人	5,298人	5,731人	5,874人	広報紙への掲載や運転免許返納者への無料チケット配布事業の実施等により、前年度比約2.5%の利用者増加となった。	H29年度に実施したアンケート調査等を踏まえ、H30年7月からはタワラモンタクシー利用料金助成制度に切り替え、町内の交通弱者の移動手段確保に努めていく。	6,000人	町長公室	総合政策課